

令和7年4月1日

田口町自治会会長 岸 秀喜

田口町社協会長 岩崎捷男

“花より団子の季節”を迎えて皆様には如何お過ごしでしょうか。

田口町社協では安心・安全な町づくりの一助にとの思いで定期的に情報交換会(1回/3ヶ月)を行っています。3月実施の情報交換会概要について以下にお知らせいたします。

1. ふれあい・いきいきサロン委員会より

- 1) 令和7年度も毎月第3月曜日に開催いたします(8月、10月、1月は休み)
詳細は回覧板にてご連絡いたします。

2. ふれあい食事会、敬老会委員会より

- 1) ふれあい食事会
令和7年度も食事会はせずに75歳以上で一人暮らしの方へのお菓子配布とする。
- 2) 田口町敬老会(自治会)
令和7年度は田口町と青柳町との共同開催を南橘公民館で予定しています。
(他町の方々と演技等を通じての交流を図る)

3. 安心・安全パトロール委員会より

各地区「西南、西北、東」よりの概要

- 1) 外出困難者へのサポート：現在は身内やタクシー等で対応している人でも先々困難が想定されるので、公的サービスを受けられるように包括支援センタ等とサポートしていく。
- 2) 安心・安全パトロールのグループ編成
令和7年度より保健推進員が3名(4名→3名)となるのと自治会役員の改選もあり地区担当メンバーの再編成を行う。
- 3) 啓発物品の配布・・・2月にも訪問対象者へ配布し感謝された。
※訪問対象者以外(日中1人暮らし・高齢者夫婦等)の方への配布も検討する。

4. 令和7年度田口町社協の組織見直し

田口町社協は設立から2年目を迎えるので、設立当初の組織を活動実態に合わせる組織見直しが必要なのでは、との意見があった・・・4月の総会にて検討
例、難聴者へのほたる鑑賞会やそば打ち体験会等外部団体等への対応係(総務)の設置等

5. 移動販売関連

とくし丸関係

田口町は現状対象地区外との事だったが、区域を広げることも検討要と含みもあったので更
にお願いしてみる →→ 会議後再度連絡を取ったら、田口団地及びサロン開催時に公民館で
の移動販売を計画するとの朗報あり(決定後別途回覧板等で連絡)

6. 難聴者そば打ち体験について

- ① “難聴者そば打ち体験会(参加者 16 名+田口サポーター 11 名=27 名)”を3月1日に昭和の家を会場(岩崎富雄・壽美子さんご夫妻に貸して頂き)に実施いたしました。
参加者自身で打った(水回し、練り、のし、切るすべてをサポートの助言のもと実施)打ったそばを茹でてすぐに食べ、皆さん田口そばの味の良さに満足でした。
- ②次いで摘菜体験を近くの南橘地区田口菜栽培畑で体験して頂きました。
各自摘んだ菜を田口土産として持ち帰って頂きました。
(尚、そばの添え物としても田口菜を食べて頂き、是非欲しいとの事でした)
- ③令和7年度も同様の企画をし、ハンディのある人と見守る人がそれぞれの立場を越えて理解が進むことを願って活動を継続していきます。
- ④体験会の写真を末尾に掲載

7. ボッチャ用具の購入

ボッチャ用具を1セット購入しました。(他に宝寿会で1セット購入)
令和7年度にボッチャ大会を予定。

8. 来年度の災害時避難訓練(新規)に向けての対応(自治会)

- ①来年度自治会事業に避難訓練を予定している。
- ②田口町としてどのような災害を想定するか、避難場所、支援内容等令和7年度事業として具体化していく。(オリエンテーリングと合わせて炊き出し訓練を実施等意見有り)
- ③災害弱者(高齢者、障害者、外国人等)への対応方法も課題

9. 前橋市社会福祉協議会より移動支援事業について(前橋社協:源後さん)

- ①サロン出席者の送迎車用保険について、年度替わりでの役員交代(車)は変更届要
- ②令和6年度実施して頂いた難聴者への“ほたる鑑賞会・そば打ち体験会等へ感謝すると共に令和7年度も是非、同様の事業を継続して頂けることをお願いします。

難聴者そば打ち体験会の様子

